

日時：令和6年10月3日（木）10：00～12：00

場所：本庁舎A棟2階 第2委員会室

出席者：下平会長、鳶田副会長、畠中委員、北原委員、胡桃澤委員、和田委員、山崎委員、今村委員
（紀）、森下委員、松村委員、篠田委員、熊谷委員
高田副市長（行財政改革推進本部長）、清水総務部長、澤柳企画課長、伊藤人事課長

欠席者：村松委員、今村委員（匡）、市瀬委員

1 開会

2 あいさつ

（下平会長）

本日はお忙しい中、ご出席を賜り感謝申し上げます。9月の飯田市の平均気温は過去最高の25度であった。この暑さの中、飯田市長選挙、衆議院選挙が開催される予定である。急遽決まった衆議院選挙により、前代未聞のダブル選挙となり、選挙を担当する職員は非常に混乱しているだろう。私達は今まで便利で都合の良い生活をしてきたが、その反動により気候変動が起こり、生活しにくい自然環境となってしまった。石川県能登半島では、9月22日に線状降水帯が発生し、再び大災害が起こった。飯田市は周囲を山脈に囲まれているので、台風による影響は少なく、大きな被害はない状況である。また、岩盤がしっかりしているからか、震災による被害も少ない。しかし、安全とは言い切れないため、住民同士が助け合いながら生活していくことが重要になるだろう。

さて、今年度4回目の行財政改革推進委員会となる。本日の協議事項として、前回到引き続き、諮問事項である「次期・飯田市行財政改革大綱の方向性について」の協議を行う。前回は、大綱のたたき台を確認し、委員全員から発言をいただいた。答申に向けて、有意義な意見交換を行うことができたことに、感謝を申し上げます。今回は、これまでの飯田市行財政改革推進委員会の協議の結果を踏まえ、委員の皆さんのご意見をまとめた上で、答申書に整理していく予定である。答申書（案）については、前回の飯田市行財政改革推進委員会の中で、素案をご覧いただいたところだが、改めて、委員の皆様のご意見を踏まえた内容であるかどうか、それぞれのお立場から、ご意見やご提案等をいただき、答申書にまとめたい。

本日も、しっかりとご協議をいただくことをお願い申し上げて、会長の挨拶とする。

（高田副市長）

本日はお忙しい中、ご出席を賜り感謝申し上げます。本年度、第4回目の飯田市行財政改革推進委員会となる。

まず、9月22日に能登半島を襲った豪雨災害について、お亡くなりになった方々に謹んで哀悼の意を表すとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。元日に発生した能登半島地震からの復旧・復興の未だ途上にあつたところに、更に豪雨が襲い、ニュースで被災者の表情やインタビューを見ても、非常に心が痛むところである。飯田市として、チームながのの一員として被災地の復旧・復興にできるだけ役割を果たしていきたい。

さて、本日は、次期・飯田市行財政改革大綱の方向性について、ご協議をしていただき、答申をいただきたいと考えている。

現状を申し上げるが、9月30日に、市議会3回定例会が閉会し、令和5年度の一般会計及び特別会計の決算が議決された。今後、市として令和7年度の予算編成が始まる。現在、ご協議いただいている飯田市行財政改革大綱は、予算に計上された各事業を実行するにあたり、財政面、財源・人員の確保の面から実効性を担保する役割がある。

このような状況も踏まえて、ご協議いただくことをお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

3 協議事項

(1) 次期行財政改革大綱の方向性について 【岩崎行革・施設マネジメント係長説明】

ア 前回振り返り

- ・調査審議（諮問）にあたっての検討資料（修正版） 資料1
- ・次期行財政改革大綱の方向性に関する意見等 資料2

（今村委員（紀））

資料1に関して、会計年度任用職員についてまとめた内容、今後の方針について記載されていないため、ぜひ内容に入れていただきたい。

（伊藤人事課長）

会計年度任用職員の方に支えられて業務が回っているのが実状である。業務を進めるうえで、正規職員と会計年度任用職員に差があるわけではなく、分け隔てなくそれぞれにスキルを上げていただく必要があるため、ここに分けて記載するかどうかは、検討させていただきたい。

（今村委員（紀））

資料1の6ページに職員研修の受講割合が100%となっているが、会計年度任用職員も研修は受講しているのか。勤務時間に関しては、どうなっているのか。

（伊藤人事課長）

研修に関しては、正規職員と全く同じわけではないが、必要があれば正規職員と同じ研修を受講していただいている状況である。職務内容や勤務時間は、それぞれ異なる。

（山崎委員）

資料1の20ページに「歳入確保（例：ふるさと納税、使用料・手数料等の受益者負担の見直し、有料広告事業）」とあるが、今後大規模な事業を行っていくうえでは、歳入確保の例としては弱いのではないか。例えば、南信濃では、水力発電所を建設中であり、それに伴う交付金が飯田市の歳入となるが、このような交付金も歳入確保の例となるのではないか。

（清水総務部長）

飯田市行財政改革大綱は、大きな取組方針をまとめていき、今後の作業の中で具体的な内容を検討し、委員の皆様にご覧いただく予定である。あくまでも例として記載してあるため、いただいたご意見を参考に、しっかり検討していきたい。

イ 諮問事項に対する答申について

- ・答申書（案） 当日配布

（北原委員）

答申書の内容に関して、とても素晴らしい内容で感心した。特に、2のア「行政の仕組みづくり・人づくり」に関して、職員の休職者が非常に多いと噂で聞いた。人不足の中で、職員がやる気をもって安心して働ける職場づくりは非常に大切であると感じる。また、飯田市行財政改革大綱案の中にもあったが、定年引き上げに関して、良いことだと感じる反面、職員数が増えているデータが出ていたので、ただ職員数を増やすのではなく、今いる職員が休職することなく働くことが大切であると感じる。

イ「財政基盤の確立」に関しては、公共施設の維持管理費は非常に費用がかかるので、見直しを行うことは大切なことであり、積極的に進めていただきたい。

ウ「行政サービスの提供」に関しては、金融機関の立場からすると、資料1にもPPPやPFIといった言葉が出てきたが、民間と行政が寄り添い、民間のノウハウを活用できるような支援ができないか検討しているところであるので、ぜひ相談していただきたい。

(今村委員(紀))

イ「財政基盤の確立」の公共施設の維持管理費に関して、学園構想にも該当するのではないかと思ひ、意見させていただく。学園構想では、校舎の老朽化に対して修繕や統廃合の整理の方向に進んでいると感じている。建物はしっかりとメンテナンスをしながら使用すれば、追手町小学校のように登録有形文化財になり得るため、むやみに統廃合するのではなく、しっかりと議論をした上で結論を出していただきたい。

(高田本部長)

資料1の3ページ、2(1)総合計画と行財政改革の関係にも影響するが、学校施設のあり方については、教育委員会として最も大切なことである。この飯田市行財政改革大綱の中で、学校施設の統廃合に関して協議するのではなく、まずは教育委員会の中で、各学校又は地域住民の皆様と方向性を協議することが重要であると考えているのでご理解いただきたい。

(胡桃澤委員)

1に記載の内容が最も重要であるが、文章が簡潔すぎるのではないか。行財政改革や実行計画について付け足し、わかりやすくしていただきたい。

(下平会長)

財政の基本は、入を量り出ざるを制すが基本であると感じるため、この文言を入れるのはどうか。副会長、事務局と相談して答申書を修正する。

暫時休憩 休憩時間は11時から11時15分まで

(下平会長)

それでは、協議を再開する。今までの議論の取扱いについて、次のようにする。

- ・個別の政策や事業に関する要望について、事務局から担当課へ伝えていただくこととする。
- ・「いいだ未来デザイン 2028」において、継続して取組んでいる事業等に関する意見は、引き続き鋭意、取組を進めてもらうよう企画課へお願いする。
- ・具体的な手法等についての意見や提案は、大綱に基づく実行計画の中の策定で実現できるよう、今後の協議に引継ぐこととする。

答申の修正内容として、1の部分に皆様の意見を包括させていただき、「基本方針(案)の実現に向け、未来志向の行財政改革、意識・行動の改革、人づくりによる組織風土改革の姿勢を反映し、透明性のある計画を立て、確実に実行されたい。」と標記させていただいた。その他に関しては、修正なしである。

(寫田副会長)

答申の修正に関して追加説明であるが、2のウ官民の役割分担や民間委託「など」とさせていただいた。

4 答申

5 今後のスケジュール 【岩崎行革・施設マネジメント係長説明】

○今後の行財政改革推進委員会の開催予定

- ・第5回（令和6年11月下旬）
次期行財政改革大綱及び実行計画について（協議）
- ・第6回（令和7年3月頃）
次期行財政改革大綱及び実行計画について（報告）

6 その他

（今村委員（紀））

第二飯田荘の指定管理者について、8月に次期指定管理者を決めると伺っていたが、現状はどうなっているのか。

（高田副市長）

指定管理者の公募を行い、応募があった。庁内の行財政改革推進本部会議にて担当課より正式に応募者の選定結果を報告していただき、指定管理者の決定を行い、議会へ議案を出す方向で動いているところである。

（和田委員）

パブリックコメントは、どのように公開して市民から意見を募るのか。

（岩崎行革・施設マネジメント係長）

本日、答申をいただいたので、今後、飯田市行財政改革大綱を計画書のように文章化していく作業を行い、文章化した内容を市民の皆様にご覧いただき、パブリックコメントを行う予定である。パブリックコメントに付す前に、次回の飯田市行財政改革推進委員会にて、委員の皆様にご覧いただきたいと考えている。

（和田委員）

要望である。市民には、直接説明する機会はないので、できるだけわかりやすい言葉を使っただき、多くの方が理解し、たくさんの意見を募ることができるようにしていただきたい。

7 閉会

（高田副市長）

先ほどは答申をいただき、感謝申し上げます。7月の飯田市行財政改革推進委員会にて諮問をさせていただいて以来、長期にわたり委員の皆様にはご協議をいただいた。皆様からいただいた有意義なご提案をはじめ、貴重なご意見を踏まえたうえで、飯田市行財政改革大綱を文章化し、整えていく作業に移っていく予定である。この内容と、飯田市行財政改革大綱を実行していくための実行計画を11月の飯田市行財政改革推進委員会にて改めて委員の皆様にご協議いただきたいと考えている。

今後4年間、飯田市行財政改革大綱に基づいて政策を進めていくが、その間も委員の皆様には、着実に実行されているかご協議していただき、皆様のご意見を踏まえて進めていきたいと考えている。

貴重な答申をいただいたことに再度感謝申し上げ、挨拶とさせていただきます。